

滋賀医科大学理事に就任して

この度、一般応募者の中から経営等担当理事を拜命し、その責任の重さと皆様方からの大きな期待を日々感じているところですが、全力を尽くして頑張りますので、皆様方のご支援ご協力の程、何卒よろしくお願いいたします。



村山 典久
(滋賀医科大学理事)

さて、まずは私自身の経歴について触れておきます。私は京都大学を卒業後、アクセンチュア株式会社にてほぼ13年間の活動に携わって参りました。本業務内容について馴染みのある方は少ないと思いますので簡単に説明させていただきます。アクセンチュア時代には、ユーザ企業の経営陣が抱える課題、問題意識あるいは悩み等の相談を受け、また時には経営陣に対して今後のあるべき姿を提言し、ご理解を頂いた上で、目指すべき方向に向かってユーザ企業の方々と協調し、対策を推進して参りました。

が本学のことを心から愛していることが大前提であると考えています。

また、私自身が理解した本学の良い面を積極的に社会にも伝え、地域の方々にも本学のことを心から愛して頂けるように努めたいと思います。

滋賀医科大学理事就任にあたっては、これまでの経験を生かし、また教育・研究、医療に関する実情について勉強しながら、少しでも本学発展のために寄与できれどと考えております。

そして、その中から今まで以上に地域の方々と深い関わりを持つことができれば、本学の目的を達成していくことにもつながっていくと考えます。

②経営に関する私見 ～経営とは改革を行うための環境づくり

具体的な取り組みについてはこれからという状態にありますが、現時点で考えていることをご説明したいと思います。

経営についてよく言われる言葉は、「理念に基づく目標の明確化、戦略立案とその実行」、「実行にあたっての効率的な組織体制、プロセス作り」、「改革を行っていく上での意識レベルの向上」「経過過程における各種改善案の提示とその実行」、「健全な財政基盤の確立」等があげられます。

①まずは、大学の良い面を十分に理解し、それを社会の方々と共有したい！

これらはすべて「やりたいこと、あるいはやるべきことを実施しやすい環境づくり」であると私は考えています。例えば、目標指標を導入することで、教職員の方々の目標が明確になり、そのために何をやらなければならぬかが明確になります。

法人化を迎え各国立大学法人はこれまでの規制から離れ自由度が高まりました。これからは大学の個性がより尊重され、大学の理念に基づき様々な対策を打てるようになります。本学においても「中期目標・計画」で示されているように様々な対策を実施していくことになり

また、本学の目標である独創性が高く、国際的に評価されうる研究を追求するにしても、健全な財政基盤がなければ必要な研究費用等を十分に捻出できません。現在、本学においても「やるべきことはあるが、実際には取り組めない」という状況が多々あると感じ始めています。

ですが、その実行にあたり最も重要なことは、どれだけ大学のことを真剣に思い、強いコミットメントを持って対策に臨めるかだと考えています。

私は、今後他の役員、教職員の方々が抱えている問題

そのためには本学の良い部分を十分に理解し、私自身

を上記のような観点から拝察させて頂きながら、微力ですが少しでもやりやすい環境づくりに貢献できればと考えています。

③産学連携に関する私見 ～あくまでニーズありき

昨今、産学連携も大学界における主要テーマのひとつであり、皆様のご協力を得ながら本学としてもぜひ活発に推進していきたいと思っております。産学連携にあたっては、まずは研究活動に携わられている教員の方々の産業界へのニーズおよび産業界の方々が考えられている本学へのニーズを量、質ともに最大限に引き出すこと、あるいはそれを実施できるスキームを整えることが最大の成功要因であると考えています。

また、産学連携に関わるこのようなニーズは多種多様なものになることが想定され、個々の特異性に応じた対応を行っていくべきことも重要な要素であると拝察しております。

私の担当領域としては、これら以外に国際交流、「大学評価委員会」および「情報収集分析室」があげられます。これらにつきましてはまだ不慣れな部分もあり皆さんの協力を得ながら成果をあげていきたいと思っております。よろしくお願いたします。

最後に

近江商人の言葉に「三方良し」という考え方があります。「相手に良く、世間にも良く、そして自分にも良い」ことをやっていこうということです。営利追求機関ではない大学にとつても大変参考になる考え方です。

私としては、「学生・患者さん本意であり、また地域社会にも十分に貢献し、かつ大学・病院の教職員の方々にとつても明るく働きやすい環境づくり」を目指していきたいと思っております。今後とも色々な方々のご意見をお聞きしながら取り組んでいきたいと思っておりますので、メールでも電話でも、また、どこにでも出向きますので何卒よろしくお願申し上げます。③

①ご意見は「こちらまで」

e-mail : riji2906@belle.shiga-med.ac.jp
TEL:077-548-2906